



# 横浜研修センター 横浜クリニック 地域医療連携室レター

平成 26 年 8 月  
第 9 号

神奈川県川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室(045-313-5047)

## 残暑お見舞い申し上げます。

平成 26 年 7 月 9 日に、第 2 回『ご報告・地域医療連携懇親会』が無事終了した事をご報告いたします。

今回のレターは関連記事を載せましたので、よろしくお願い致します。

## ご挨拶

院長 井野 智

7月の梅雨明けとともに、厳しい暑さが続く夏となりましたが、皆様方におかれましては益々ご健勝のことと存じ、心よりお慶び申し上げます。

私共、横浜研修センター・横浜クリニックは、本年7月を以って開設12周年を迎え、昨年に引き続き『ご報告・地域医療連携懇親会』を開催致しました。当日は、多くの医療機関を代表する先生方のご列席を賜りました事、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、『ご報告・地域医療連携懇親会』におきましてご紹介させていただきました通り、当院は今年度に入り、診療科責任者を含めた人事異動がありました。今後は、新たに加わったスタッフと共に、各医療機関の先生方と連携をさらに強化すべく、オープンセミナー等を企画し、更なる地域医療の発展の為、協力させていただきたいと考えております。各種情報は、当クリニックのホームページ等を通じて最新の情報を発信させていきたいと考えておりますが、お気づきの点、ご要望がありましたら、遠慮なく、地域医療連携室のスタッフまでご連絡ください。今後とも宜しく願い申し上げます。

### この号の内容

- 1 センター長兼院長のご挨拶
- 2 懇親会のご報告
- 3 懇親会のご紹介
- 4 懇親会の診療科挨拶
- 5 オープンサテライトセミナーについて
- 6 オープンセミナーについて
- 7 眼科よりご報告
- 8 地域医療連携室からご報告



## 懇親会のご報告

### 《ご挨拶・ご報告》

1. 開会の挨拶【地域医療連携室長 笹原絹代】
2. 院長挨拶【院長兼センター長 井野智】
3. 診療科よりご挨拶 ※4面にて写真とご挨拶を掲載



### 《懇親会》

1. 来賓挨拶【社団法人横浜市歯科医師会 会長 杉山紀子先生】  
【神奈川歯科大学 神奈川県同窓会 会長 外池利夫先生】



2. 乾杯【横浜市神奈川区歯科医師会 副会長 富田雅彦先生】



3. 閉会の辞【副院長 田村利之先生】



### 第2回『ご報告・地域医療連携懇親会』

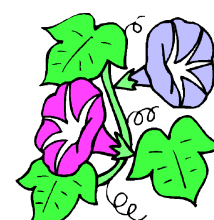
7月9日（水）19：00より開催いたしました。大型台風接近の折りに、沢山の皆様にご参加して頂きました。ご参加ありがとうございます。

診療科のご報告会は予定時間を上回るほど、赴任した先生たちの熱心なご報告となりました。

その後の交流タイムは短いながらご参加者皆様の有意義なお時間になったと推察されます。

そのご様子を3面でご覧ください。

来年もまた予定しておりますので、ご参加よろしくお願ひ致します。



# 診療科よりご挨拶 ・ 交流タイム

当日は雨の中、ご参加ありがとうございました。  
短い時間でしたが、有意義なお時間をお過ごし頂けましたでしょうか？



### ▼眼科 市邊義章



2014年10月1日から神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科に常勤医として勤務させていただきます、市邊義章（いちべよしあき）と申します。昭和63年に北里大学医学部を卒業後、2年半の出向と1年の米国への留学以外は北里大学で診療、研究、教育をしてまいりました。私の専門は糖尿病網膜症、黄斑変性、ぶどう膜炎、視神経症など眼底疾患が主流です。長年、北里大学で外来に携わってきた経験を生かし、様々な疾患に対応してまいりますが、眼科領域も各疾患に対する専門性が年々高くなってきております。より専門的な検査、治療が必要とされる疾患に関しては周辺の専門外来を持つ施設に紹介するなど、最適な治療を患者さんに提供するべく努力していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。（2014年4月より非常勤医師）

### インプラント 児玉利朗▼

2014年4月より神奈川歯科大学 高度先進口腔医学講座インプラント・歯周病学分野大学院教授として赴任いたしました。

1983年に神奈川歯科大学歯学部卒業後、1997年神奈川歯科大学歯周病学講座退職をするまでの主な研究分野は、コラーゲンを中心とした生体材料の研究・吸収性GTR、GBR膜の研究開発と臨床応用（Tissue Guideを開発する）・テルダーミス（メッシュ補強タイプの開発）・テルプラグの基礎研究ならびに臨床応用・歯周組織における歯肉と歯槽粘膜の研究をしていました。以上の研究については、約40篇以上の学術論文を発表しました。また、学会活動としては、日本口腔インプラント学会専門医・指導医・代議員、日本歯周病学会専門医・指導医・理事を務めております。退職後は、鹿児島にて児玉歯科クリニックを開業（約17年間）すると共に、鹿児島大学非常勤講師をしていました。このたび、大学人としての決意を固め、横浜クリニック・インプラント科にて再スタートの運びとなりました。これまでの臨床経験ならびに研究をもとに大学における臨床の再構築、さらに開業医の皆様への情報発信の場として活力ある横浜クリニック、大学再建に全力を尽くす所存です。具体的には、地域連携医療、専門医育成研修、臨床に即した研究テーマ、次世代を担う人材育成です。今後とも皆様のご指導ご協力を賜り、微力ながら尽力したいと思っております。



### ▼口腔外科 中村篤



2014年7月より神奈川歯科大学附属病院横浜クリニック 歯科口腔外科に赴任いたしました。

1983年に昭和大学歯学部を卒業後、同大学第一口腔外科に在籍し、癌研究会附属病院頭頸科での2年弱の研修を経て日本口腔外科学会の認定・指導医を取得いたしました。

1999年より大和徳洲会病院歯科口腔外科部長として赴任し、重症感染症、比較的難易度の高いインプラント手術、上下顎骨切りを主とする顎変形症手術まで対応して参りました。

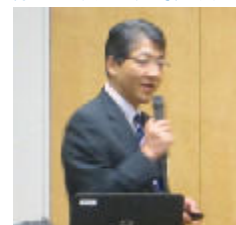
横浜クリニックでは病棟が通年使えず、歯科口腔外科が扱う疾患を限定せざるを得ませんでした。病棟を通年使えるように改善しますので、全身麻酔を必要とする顎変形手術や腫瘍切除および再建手術、難易度の高いインプラント手術や、口腔感染症を扱えるようにして、地域の先生方のニーズに答えていく所存です。敷居が低く、患者様を送りやすい施設を目指しますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 矯正歯科 不島健持▼

近隣の関連医療機関の先生方、同窓の先生方には、平素より患者さんのご紹介、診療連携を通し、大変お世話になっております。改めて深く感謝申し上げます。大学附属病院は地域の医療機関と競合するのではなく、より専門的な医療を提供することで近隣医療機関と役割分担することが求められております。横浜研修センターでは神奈川歯科大学における大学院改革の一環として、平成25年4月に歯学研究科大学院高度先進口腔医学講座が開講しました。私は歯科矯正学分野において将来の人材育成とともに、病院内の他専門歯科との密接な連携により、以下にお示しする内容を中心に専門性の高い矯正治療の提供に努めております。

- ・ 最新の医用画像工学システムによる顎変形症の外科矯正治療
- ・ 矯正用インプラントを利用した歯を抜かない新しい矯正治療
- ・ 歯周病を伴う成人矯正治療

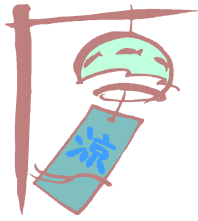
今後とも地域医療に貢献するよう努力精進していく所存ですので、変わらぬご支援賜るようお願い申し上げます。



### 『インプラント・歯周病治療における横浜クリニックの役割と地域連携医療について』

日時：平成26年4月24日（木曜日） 後6時30分～

場所：神奈川県立歯科大学附属横浜研修センター7F 大会議室



医科歯科連携の重要性が指摘される昨今、現実的には歯科の専門領域に関する歯科内連携や地域連携は確立されておらず、歯科の社会における信頼回復のために早急に実施しなければならない重要課題と考えられます。

特に、**インプラント治療**は、無歯顎部や部分欠損部の治療における標準的な選択肢になってきています。治療を成功に導くためには、術前の詳細な診断・設計と治療計画が

求められ、インプラント埋入部位の手術の適否について軟組織・硬組織の両面から判断されなければならない。言い換えると、様々な専門的要素が求められる集学的治療と考えられます。しかしながら、実際の臨床においては骨の形態や軟組織の分布・上部構造デザイン等の様々な困難な問題をかかえる症例も多く、術後のトラブルに遭遇することも否めません。

**術後のトラブルの発生についてみると**、主に術者側の要因と患者側の要因の2つについて考慮する必要があります。

**術者側の要因としては**、稚拙な手術術式による1次固定不良、熱傷、オーバーローディング、神経組織の損傷、不適切な付加的処置（骨造成やメンブレンテクニック）等に加え、患者の要因とも関連して創傷治癒不全、早期感染が考えられる。

**さらに患者の全身疾患**（糖尿病、関節リウマチ、骨粗鬆症、高血圧）等の関連も考慮しなければならない。また、上部構造装着後のインプラント周囲炎についても着目されるところであり、インプラント治療においてこれらの要因に起因する術後のトラブルが発生した場合、それに対するマニュアル化された対処法は確立されていないのが現状です。

このような背景から、地域における連携医療の確立が、患者の信頼回復や安心に寄与するものと考えられます。そこで、大学受け入れ側の責務として、治療や外科手術の明確なクライテリアを提示し、具体的に何がどこまで実施可能なかの依頼に対する技術レベルを明確にすることにあります。

そのことにより、周辺地域の開業医の先生方に活用いただけるような症例相談・外来依頼手術の場、さらには情報の発信源の場としてオープンクリニックの構築を実施したいと考えています。そのため今回は、連携導入のためのガイダンスと相互理解をかねて講演することにした。

- ・ オープンクリニック（症例相談対応、外来依頼手術）
- ・ 専門医育成・研修（日本歯周病学会、日本口腔インプラント学会）
- ・ 定期的なオープンセミナー開催（月1回木曜日）
- ・ 社会人大学院

### 次回予定

- ・ 9月25日（木）18:00~19:30  
歯周病学会・インプラント学会専門医取得について
- ・ 10月16日（木）18:00~19:30  
歯周病・インプラント治療における診査診断
- ・ 11月20日（木）18:00~19:30  
歯周病治療における基本治療と咬合性外傷
- ・ 12月25日（木）18:00~19:30  
歯周病・インプラント治療における外科術式の基本

## 高度先進口腔医学講座大学院オープンセミナーのご紹介

神奈川歯科大学附属横浜研修センターでは、昨年4月に歯学研究科大学院として高度先進口腔医学講座が開講いたしました。そして本年4月より、これまでの歯科矯正学分野とミニマルインナーベンション補綴学分野に加え、歯周病・インプラント学分野が加わり児玉利朗教授をお迎えいたしました。高度先進口腔医学講座は、特に専門性の高い臨床歯科医を育成しそれに関わる研究活動を行うことを念頭に開講しております。近隣の関連医療機関の先生方、同窓の先生方には、今後とも診療連携と学術交流を通し、同大学院講座の活動に対しご理解・ご支援をお願い申し上げます。

さて、高度先進口腔医学講座も次第に体制が整ってきており、本年度より新たにオープンセミナーを企画しました。本セミナーは大学院生の共通講義として開講されますが、先生方への先進歯科臨床の情報提供の場として、また歯科に関わる基礎的事項の学び直し場として、お役に立てればとの思いでオープンセミナーとさせて頂きました。今後も以下の講義を予定しており、ご興味のある先生方は是非ともご参加いただき、臨床面・学術面での交流を深められればと考えております。

高度先進口腔医学講座 講座長  
歯科矯正学分野 大学院教授  
不島 健持

### 年間スケジュール（**歯科医師会生涯研修ポイント習得可**）

日程	時間	講師	タイトル
2014年8月28日（木）	18:00～	児玉利朗	歯周病における咬合性外傷の考え方
2014年9月11日（木）	18:00～	槻木恵一	食事要因による唾液IgAの増加とそのメカニズム
2014年10月9日（木）	18:00～	三辺正人	慢性疾患重症化予防に関連した歯周病ケア
2014年10月23日（木）	18:00～	木本茂成	小児期の生活習慣病と食育
2014年11月13日（木）	18:00～	山本龍生	歯の健康と要介護の関連
2014年11月27日（木）	18:00～	鈴木敏行	有床義歯の理想的な設計
2014年12月11日（木）	18:00～	不島健持	歯科臨床における三次元画像工学の応用
2015年1月8日（木）	18:00～	木本克彦	咀嚼運動と脳機能概論
2015年1月29日（木）	18:00～	熊坂純雄	外傷歯について
2015年2月26日（木）	18:00～	田村利之	歯周組織のマネジメント

## 眼科よりご報告

神奈川県立横浜クリニック眼科が、NHK総合『ためしてガッテン』に取材協力を行いました。

番組タイトル

「ヤバイ！目の疲れ頭痛 まとめて劇的改善 DX」

放送日時

2014年6月4日（水） 20:00～20:43

当クリニック眼科の原医師は、神経眼科分野を得意としています。今回の番組タイトル「目の疲れ頭痛」と神経眼科における眼球運動は、原医師の得意の分野です。

取材協力をした原医師と君島視能訓練士からの報告を掲載いたします。

横浜クリニック眼科の診察室と検査室において、取材と検査協力が行われました。

原医師は、NHK スタジオでの実験、MRI 撮影に立ち会い、症状の説明を行いました。

君島視能訓練士は、NHK スタジオでの実験前後に視機能検査（視力や斜視検査など）を行い、当院眼科で眼鏡処方の手順などの検査の取材、撮影協力を行いました。

放送内容は、ひどい疲れ目や頭痛の正体が隠れ斜視であった、というものでした。ひどい疲れ目で悩む方に集まっていただき、目を使う実験を行い、脳が疲れると斜視が出てくることを説明しました。こういった方の治療は、手術や眼鏡処方となり、斜視専門の眼科医の診察が必要となります。



## 地域医療連携室挨拶

4月に当クリニックの近況をお知らせさせて頂いてから、四か月が過ぎました。梅雨明け後連日の猛暑が続いておりますが、本年は高度先進口腔医学講座大学院オープンセミナーを4月より行っております。平成26年度は15回の開催予定です。地域医療連携として診療上の連携のみではなく、研修センターとして情報の発信源の役割も加わりました。何かご要望、ご質問がありましたら、地域医療連携室へご連絡をお願い致します。

### 2014年度 健診受診状況

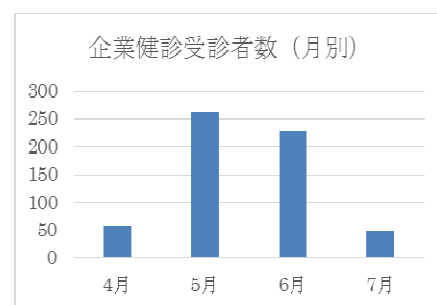
2014年4月～7月

#### 人間ドック

内容	コース	受診率 (%)		
		個人	歯科医師 国保	企業
半日ドック	A：基本コース	5	10	19
	B：動脈硬化と胃・食道検査コース	10		
	C：肺がん検診コース			
クイックドック	D：クイックドック	5		
	E：眼科検診コース	0		
	F：超音波検査コース	10		
	G：胃透視または胃カメラコース	5		
企業ドック	成人健診			38

#### 企業健診

	4月	5月	6月	7月	合計
企業数	7	5	13	7	32
受診者数	57	263	231	49	600
受診率	10	44	39	8	



#### お知らせ

本年度より特定健康診査が横浜市に続き、横須賀市民の方も当院で実施出来るようになりました。

神奈川歯科大学附属 横浜クリニック  
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6  
TEL:045-313-0007(代) FAX:045-313-0027(代)

Mail:chiiki-irenkei@kdu.ac.jp

<http://www.hama.kdu.ac.jp>

